

令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立北鶴橋小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

学校目標「心ゆたかな子ども～よく考える子 助け合う子 進んでやる子～」

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

令和7年度学校アンケートにおいて、肯定的回答が、「学校は楽しい」95%、「友だちのよいところがわかりますか」99%、「学校のきまりを守れていますか」91%であった。

令和7年度小学校学力経年調査児童質問紙において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答は96.5%であった。

不登校児童の年度末の校内調査における割合は0%であったが、欠席日数が多い児童もいる。今後も月1回の生活指導連絡会兼いじめ・不登校対策委員会をもとに「予防的生活指導」を行い、全教職員で児童を見取り、児童が話しやすい環境づくりに努めていく。

教職員と児童の信頼関係を積み重ね、常に学校全体でチームとして対応していくことを通して、小学校学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.9%以上にする。(令和7年度80.8%)

不登校についても不登校対策委員会での教職員の共通理解や、家庭との連携を深め、不登校児童率が前年度水準になるようにしていく。区役所、子ども相談センター等、外部機関との連携も積極的に行う。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

令和7年度の大阪市学力経年調査の国語科での標準化得点は、学校全体では100以上を達成することができた。しかし、6年生に関しては指標を若干下回る結果になった。

令和7年度学校アンケートにおける肯定的回答については、「学校の勉強はよくわかりますか」97%、小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」については88.5%であった。

令和7年度の大阪市学力経年調査の国語科では、「書くこと」が課題となった。そのため、授業力向上に向けた研究や、週に2回北鶴タイムでの基礎学力向上、また学年に応じて三行日記、授業の振り返り、要約など、継続した「書くこと」についての活動を行う。

国語の平均正答率について、前年度の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も令和8年度の平均を前年度以上にしていく。(令和7年度 3年 105.2% 4年 103.2% 5年 102.5%、)

令和7年度の大阪市学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を前年度以上にする。(令和7年度 88.5%)そのため、主体的・対話的で深い学びの授業や、協働的な学びの場を設け、学校全体で授業改善を行う。

### 【学びを支える教育環境の充実】

学習者用端末の使用は、朝の「心の天気」の入力から協働学習ツール、デジタルドリル、学習アプリなど、さまざま場面で活用し、使用機会が増えている。「心の天気」に関しては1年生から入力する習慣が身に付いている。このことから学習者用端末を日常的に使用することができている。

令和7年度は、授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数は91.6%を達成した。

令和8年度は、小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を82.2%以上にする。(令和7年度82.1%)

本校において、校務支援システムを活用した校務のデジタル化が進み、教員の長時間勤務は大阪市平均と比較すると大幅に下回っている。令和7年度、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合は100%を達成した。

令和8年度も引き続き、「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を100%にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.9%以上にする。【令和7年度80.8%】

② 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90.6%以上にする。【令和7年度90.5%】

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント以上向上させる。【令和7年度 3年105.2%、4年103.2%、5年102.5%】

② 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88.6%以上にする。【令和7年度88.5%】

### 【学びを支える教育環境の充実】

① 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を82.2%以上にする。(令和7年度82.1%)

② 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を100%にする。【令和7年度100%】

## 3 今後の学校園の運営についての意見

(様式例2)

大阪市立北鶴橋小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要項目1 安全・安心な教育の推進】</b> <b>年度目標</b> ① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80.9%以上にする。【令和7年度80.8%】 ② 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90.6%以上にする。【令和7年度90.5%】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】 ・毎日の児童の様子や心の天気の入力から児童の変化に対応し、毎月の生活指導連絡会で児童の様子や学級の実態について共通理解する。	
指標 学校アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を94.1%以上にする。【令和7年度94%】	
取組内容②【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】 ・年に2回「いいところみつけ週間」を実施し、改めて自分のよいところに気づき、自己肯定感を育むことができるようにする。 ・学級活動において自分のよいところを振り返り、自分のよさを知ることで、自分も友だちも大切にすることを育てるようにする。	
指標 学校アンケートにおける「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。【令和7年度89.9%】	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式例2)

大阪市立北鶴橋小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要項目2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> <b>年度目標</b> ① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント以上向上させる。【令和7年度 3年 105.2%、4年 103.2%、5年 102.5%】 ② 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88.6%以上にする。【令和7年度 88.5%】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・国語科を中心に基礎学力の定着を図り、教職員が連携して、一人一人の学力を向上させる。 ----- 指標 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント以上向上させる。【令和7年度 3年 105.2%、4年 103.2%、5年 102.5%】	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現に向けた授業改善を図る。 ----- 指標 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88.6%以上にする。【令和7年度 88.5%】	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式例2)

大阪市立北鶴橋小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b> <b>年度目標</b> ① 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を 82.2%以上にする。(令和7年度 82.1%) ② 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を 100%にする。【令和7年度 100%】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ・心の天気の入力、各教科におけるICT活用 (発表ノート、PowerPoint、写真撮影など) を積極的に行っていく。	
指標 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を 82.2%以上にする。 (令和7年度 82.1%)	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・ゆとりの日の定時退勤、退勤目標時間の設定、業務の分担や業務の精選の工夫をし、ワークライフバランスの保たれた組織づくりを行う。	
指標 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を 100%にする。【令和7年度 100%】	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

